

史学関係主要雑誌論文目録

(昭和三十四年分補遺)

九州文化史研究所紀要 7(十一月)

九州大学九州文化史研究所

秋月藩の島原陣屏風

佐賀藩多久領給人知行地の

一側面

近世初期肥後国衆一揆の構造

筑後の古文書

慶長以前

福岡藩三奈木黒田家文書目録(一)

研究報告 第10号

山梨大学文学部

歴史学論集 第三集

陳蔡の間(下)の

孔子説話の思想的

研究 その八

開港と出貿易

大化前後の大夫について

唐の官有賤民、

雑戸の由来について

山梨県における親分子分関係

の諸問題(その一)

親分子分慣行と寄親寄子制度

雑記

愛媛大学紀要—人文科学—

5の1(十一月)

神功皇后紀によせられた推古

の平等外交形式の注記について

A. J. トインビーに関する研究(三)

(昭和三十五年二月分)

大阪経大論集 27

大阪経大文学部

〔論考〕

実りなき川筋願の経緯(二)

経営年令制度にお

ける癡疾退職問題

ギリシアにおける法哲学

風土記における産

物と地味の記載

〔資料・紹介〕

金沢大学法文学部論集

哲学生学篇 7

寛政年間越中石動宿

における宿統仕法

古墳時代における

地方の政治勢力(一)

—加賀・能登古墳時代史序説—

明代太湖周辺の糧長

—特に蘇州府吳江県を中心として—

帝政ロシアにおけ

る鉄道事業の発展

〔研究ノート〕

能登島の石垣田

—揚浜塩田の形態変化の型式—

魯についての記述法か

らみた春秋三伝の立場

初唐仏教の一断面

—慈恩大師の維摩經観—

大阪経大文学部

黒羽兵治郎

真野 脩

当津 武彦

秋本 吉郎

水上一久

下出 積与

西野 正次

阿部 重雄

山田 琢

野間三郎・斎藤晃吉

岐阜史学会

吉岡 勲

森 蘇軒

日置弥三郎

三乃国虫見聞百話(上)

尾張藩老石河家の由来

経済研究 14

〔論集〕

河州天領五人組帳の検討(二)

現下農業法人の一問題

近江地政政策の展開

明治前半期におけ

る堺商工業の推移

〔資料〕

スイスにおけるアルチザン観

〔紹介〕

F. A. ハイエク編

「ジョン・ステュアート・ミル時代の精神」

九州文化史研究所蔵古文書目録

清水文書

森文書

経済研究 10

七カ年計画とソ連邦の生活水準

減退人口について

史迹と美術 30の2

三〇一号

史跡美術同友会

法華撒特院趾と遺瓦

大阪天満宮の大将軍社(下)

小督局伝の考証とその

清閑寺墓の否定(下)

特集・石造狛犬資料

商学論集 28の4

〔論文〕

小川 栄一

大橋 二郎

大阪府立大学経済学部

黒羽兵治郎

亀井 秀夫

竹安 繁治

藤井 定義

柴 万三郎

福原 行三

明治学院大学文経学会

阿部 勇

高木 尚文

服部 清道

滝川政次郎

田中 重久

福島大学経済学会

庄司吉之助

禅学研究 50

(創立50周年記念)

禅文化研究所

彫刻の調査と研究経過(彫刻)

興福院ふくさ及び東大

寺図書館の厨子(工藝)

奈良県下仏面調査概要(絵画)

昭和三二年度庭園遺跡調査概要

法隆寺東室の間取(建築)

川原寺第二次調査概要(建築、考古)

興福寺藏(興福寺維摩舍利堂)不

足米餅等定案(紙背文書(古文書))

高山寺所藏「東寺講堂指図」

奈良国立文化財研究所要項

日本上古史研究 4の2 三十八号

日本上古史研究会

〔論説〕桓武天皇と伊勢神宮

〔動向〕

最近の神功皇后紀の研究

〔論文評〕

伊野部重一郎氏

一応神紀より雄略紀までの紀年の検討

〔論文要目〕

補遺(三十二年十一月三十四年六月)

日本歴史 一四〇

大阪周辺農村の地主制の一考察

刀伊の入寇と九州武士団

明治四十年代の無政府主義思想とキリスト教

〔座談会〕

関東史学界の動向(下)―近世・近代―

石代納をめぐる幕府と農民

小林 剛

守田 公夫

小林 剛

森 蘊

鈴木 嘉吉

坪井 清足

田中 稔

杉山 信三

前川 明久

二宮 正彦

神田 秀夫

小林 茂

志方 正和

塩入 隆

青木和夫他

森 杉夫

富田聖徳寺の所在地について

日英同盟再更新論

百姓一揆の一資料

白石と鶴外(下)

〔歴史手帳〕〔書評と紹介〕〔新刊書案内〕

〔学界動向〕〔日本歴史関係雑誌論文目録〕

明治学院論叢 56 社会学・社会事業特輯

明治学院大学文経学会

都市における中小企業家族の実態

―大学周辺地域の調査より― 館 逸雄

大和文化研究 5の2 (二十二号)

大和文化研究会

長谷寺の沿革とその文化財

長谷寺の本尊十一面観音像

長谷寺の彫刻

長谷寺の絵画

長谷寺の肖像画

長谷寺の仏画

頼瑜が校点した悉曇藏

長谷寺と与喜天神社と連歌

伝菅原道真筆長谷寺縁起

長谷寺藏三彩金欄手仙蓋瓶

長谷寺の漆工品

立命館文学 一七七

近世歌論におけるリ

アリズムの萌芽形態

〔書評〕

船山信一著「明治哲学史研究」

歴史評論 一一四

日本社会主義者の評価によせて

重松 明久

黒羽 茂

児玉 幸多

宮崎 道生

岩井 忠熊

小山 弘健

石田 茂作

小林 剛

岡 直己

上原 昭一

松村 政雄

上田 英次

松田 隆

小野 勝年

岩城 隆利

粟原 治夫

藤村 了一

田岡 寅造

岡崎 讓治

岩井 忠熊

小山 弘健

岩井 忠熊

小山 弘健

岩井 忠熊

小山 弘健

岩井 忠熊

小山 弘健

岩井 忠熊

小山 弘健

岩井 忠熊

世界史における発
展段階そのほか
思想史の方法規定への試み(上)

石田英一郎

歴史教育における
日本近代史の問題

山田 宗陸

教育反動化と原始・古代
中世新刊古文書集(二)

古屋 哲夫

二月堂お水取り行法
秋白の思い出(6)

佐藤 伸雄

武家政治の成立(助言者)
封建社会解体期の産業資本

島田 次郎

ワイマール共和国の解体(7)

堀池 春峰

「日米安全保障条約改正」反対について

楊之 華

論集 6の3(通巻第十九号)

藤間 生大

「大化改新」覚書
イサク・チチング

矢代 和也

「学問のすすめ」批判ノート(Ⅱ完)

手島 正毅

肥後一山村に於ける
「衆」の構造と展開(二)

吉田 輝夫

筑前国古文書編年目録(二)(鎌倉時代)

神戸女学院大学

紀伊国荘園分布図(Ⅰ・Ⅱ)

南山学会

空中写真撮影記録 3

渡辺 澄夫

公共測量成果 第一部

保原有板 第二部

空中写真撮影記録 4

保原有板 第一部

公共測量成果 第一部

保原有板 第二部

建設省地理調査所

建設省地理調査所

〔資料〕
虚無僧の留場について
豊後風土記中の大分
郡の酒水について

黒田 城北

〔社会科教育〕
地歴的なものゝ編
集学習について

二宮 好雄

〔会報〕〔編集後記〕

安部 巖

甲南大学文学会論集 11

増田 繁夫

源氏物語地理考
宇治・小野に関する古注の検討

菊野 六夫

慶長十八年来朝せる Satiss
及び Cogan の日記より

増田 繁夫

九州史学 15

九州大学国史学研究室

「大化改新」覚書
イサク・チチング

田村 円澄

「学問のすすめ」批判ノート(Ⅱ完)

平山 昌宏

肥後一山村に於ける
「衆」の構造と展開(二)

島津 豊幸

筑前国古文書編年目録(二)(鎌倉時代)

森山 恒雄

紀伊国荘園分布図(Ⅰ・Ⅱ)

竹内 理三

空中写真撮影記録 3

建設省地理調査所

公共測量成果 第一部

保原有板 第二部

空中写真撮影記録 4

建設省地理調査所

公共測量成果 第一部

保原有板 第二部

建設省地理調査所

建設省地理調査所

〔論文〕
イギリス初期炭鉱労働事情(1)
イギリスの初期議会改革論

研究 22 史学篇
後魏通貨に関する二三の問題

江戸後期における酒造資本の存在形態
―灘五郷・嘉納家の場合―

清末における進化論受容の諸前提
―中国近代思想史における進化論の意味(1)―

姫路城下町の地域
の形成と地域構造

神戸市史編纂ノート 1
神戸市史編纂室

神戸電気産業の創始時代
―ある技術者の生涯―

第一次神戸朝鮮人事件の概況
―昭和二三年の朝鮮人学校廃止をめぐる神戸の騒乱事件―

相模女子大学紀要 8
相模女子大学学術研究会

蜜柑と橘
「複合社会」の研究
―マラヤの社会・経済的条件の考察―

史淵 78
九州地方古文書(慶長以前)の蒐集整理

一六四〇年のマカオ使節に関する一資料
環溝住居址小論(四)

備中国新見庄の名主
十三・四世紀に於ける

鼓 肇雄
永井 義雄
内田 吟風
長倉 保
伊藤 守一
稲見 悦治
赤松 啓介
落合 重信

九州史学会
竹内 理三
竹内 健次
鏡山 猛
正木喜三郎

鳥野 幸次
高須 裕三

九州史学会
竹内 理三
竹内 健次
鏡山 猛
正木喜三郎

史学研究 26 東京教育大学文学部

垣内の研究その二
—垣内周辺の問題—

近世越後における縮市三
市場の成立とその変容

崩壊—における第三次農地の形成と
漢代—特に関東を中心にして—

アナティカ I

史観 57・58 合冊 早稲田大学史学会編

清水先生古稀祝賀記念号

頌寿・献呈の辞

長沙の石壁

アルタイ山とエフタル族

清末広東三角洲の養蚕経営と農村
近代化—東洋的社会と「魚塘」—

古典における年令計算
—特に計算根拠として
の家族分化について—

王充の気象観
—中国一世紀代の唯物論者—

明末に於ける松江
の幾社に就いて

三国呉の授兵制について

一九二〇年代の反基
督教運動について

統唐代井塩攷—再び新唐
書食貨志の記事について—

遼代 蕃遣使考

中国における僧侶の
師弟関係について

慧遠の廬山菴泉寺
の位置について

漢代瓦当の文様について

入元僧友山士偈について
出雲国名考
ドイツ統一理念について
〔清水泰次先生略伝〕〔同先生
主要著書・論文目録〕〔彙報〕

史迹と美術 30の2 三〇二号

若草伽藍と法隆寺々々
地についての一考察

菅公筑紫下降記(上)
配所到着の日取考

播磨社町の石造五輪塔
駿台史学 10

邪馬台国論 青山公亮・遠藤元男・杉原荘介
〔附録〕 訂製志倭人伝訳文種志倭人伝 三国鏡出土
古墳一覽表 邪馬台国研究文獻目録

〔論説〕
フランス革命と明治維新
—G・ルフェーブル教
授追悼のために—

間島問題に関する
日清交渉の経緯

古代における北陸について
—一七八世紀を中心として—

〔動向〕
最近の中国における鉄
器の発見とその研究

〔資料紹介〕
黄海北道智塔里遺跡の発掘
〔紀行〕

史林 43の2
最澄の論証を通じて(上)
見た南都教学の傾向

明代都察院の成立について
テッサロニカ事件の意義
—テオドシウス帝権とアンブロシウス—

〔研究ノート〕
版名
愚管抄のカナについて
封建社会における領主と村落
—中世都市研究の反省—

〔邪馬台国問題の解決
のために〕の補説

〔資料紹介〕
東福寺大工関係の新史料
〔書評〕

仁井田陞著「中国法制史研究(刑法)」

〔書評〕 明代滿蒙史料
〔紹介〕 黒正藏著 百姓一揆の研究(続篇)
木庄栄治郎編 近世の大坂

靖淵 3
ゆかた
聖心女子大学論叢 14
リギョールとその著「宗教と国家」

大妻女子大学家政学会
小山喜子・橋本曉子
聖心女子大学

海老沢有道
原田 淑人
田中 正夫

正倉院宝物雑考
ユークリッドの本
成城文芸 21 成城大学文芸学部研究室
色葉字類抄に見える漢字の字体・
用法の注記についての研究(二)

平家物語雑考
〔闇の奥〕

山田 俊雄
田中 孝己
宮崎 孝一

地理調査所時報 23 建設省地理調査所

荻野三七彦
水野 祐
十河 佑貞
間野 潜竜
長友栄三郎
田中 孝己

水野 祐
十河 佑貞
田中 孝己

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

田中 孝己
宮崎 孝一

地盤變動調査について 測量部

第二次南極地域観測重方部門報告 測量部

京都府舞鶴地方の土地利用 矢田 修

百万分一万国図その沿革と意義 金沢 敬

文化地域名誌考Ⅱ 山口恵一郎

文化地域とその集成(承前)

日本経緯度原点について(解説) 測量部

八十万分一国土実態図「日 川井 玲子

本人口密度図」について

【告知板】

三三年度における地形図の図名変更について

天理大学学報 31 天理大学人文学会

「御座」の敬語表記について 門前 真一

—特に出雲国造神賀詞の場合—

古代の東スラヴ人 松村 四郎

—六世紀—九世紀を中心として—

東亜時論 2の3 霞山 会

中共革命の特殊性と普遍性 河上 伍郎

中共の五九年度経済建設計画の 編集部

遂行状況と六〇年度の経済政策

〈随筆〉

中国と日本との民俗 窪 徳忠

東北経済 32 福島大学東北経済研究所

〔論文〕

石炭産業の経営労働 山本 勝也

—常盤地方炭砒についての一考察—

アッパーヌ朝における(上) 清水 誠

漢代人頭税の崩壊過程 永田 英正

—特に算賦を中心として—

中国における村制の成立 宮崎 市定

—古代帝国崩壊の一面—

【批評・紹介】〔近刊叢書〕〔彙報〕

徳島大学学芸要(社会科学) 9 徳島大学学芸学部

【論説】

ジョージⅡ初期政治考 鶴田 正治

—イバツターフィールドの

ネーミヤ史学批判—

阿波の国府と其附近の条里 福井 好行

宝亀年間に於ける弊 西山 徳

政刷新と神道思想(上)

15・16世紀のドイツ政 富木 健輔

治史の把握をめぐる

—ランゲ批判宗教改革へのアプローチ—

阿波における農民離村現象 岸本 実

姨神と家制国家 田中 勝蔵

難波宮址の研究 予察報告 3

大阪市立大学難波宮研究会

大阪市教育委員会難波宮址顕彰会

孝徳天皇長柄杓礎宮の研究 山根徳太郎

「黄金分割」と建築の比例問題 滝沢 真弓

難波宮址第八次・第 藤原 光輝

九次発掘調査報告 沢村 仁

【論説】

秋田市北郊の条里制遺構 虎尾 後哉

—一条里制施行の北限設定の試み—

【書評】

神田秀夫氏著『古事記の構造』 鎌田 純一

【論文評】

北条文彦氏『日本仏教公伝年代の問題』 伊野部重一郎

【記文要目】昭和三十四年七月(承前)

日本歴史 四一— 尾崎博・鈴木尚・杉原荘介

日本人の起原 曾我部静雄

坊合の身分 大野達之助

聖徳太子の慧思禅師 外村 久江

後身伝説と法華経 児玉 幸多

中世歌謡作者考 伊達騷動異論 豊田 武

伊達騷動異論 歌米の旅(二)

平家衰亡の序曲としてみた 荒川 秀俊

治承四年の西日本の早害 越中一向一揆の諸前提 新行 紀一

名代子代の概念に 原島 礼二

ついての一解釈

【講座】日本荘園史(第二三講) 竹内 理三

伝記随想(三) 多賀 宗準

【歴史手帳】『書評と紹介』(新刊書案内)

【学界動向】『日本史関係雑誌論文目録』

彦根論叢 64 滋賀大学経済学会

第百三十三国立銀行の帳簿について 経営資料館

菅浦文書(四〇) 史料館

99

フランス学派と歴史地理学
フェルガーナに於けるチュスト文化
——フェルガーナ古代史研究I——
谷岡 武雄

唐代迄の飯茶の歴史と茶経について
京都市を中心とする流動人口に關する二、三の考察
——都市と都市周辺の諸問題——
前田 貞二
中路 啓介

大和文化研究 23
大和文化研究会
法隆寺伝来の綿
西大寺奉納神変加持経の願主
——吉備由利について——
鈴木 康子

立命館文学 一七八
立命館大学人文学会
明治後期論理学の認識論的傾向
——論理学と認識論との關係——
船山 信一

漢代の田租と災害
による其の減免(中)
唐才子伝第五註
龍谷史壇 46
龍谷大学史学会
「建久九年記」並「源空日記」について
道宣の後集高僧伝について
——統高僧伝との關連——
前川 隆司

北魏仏教における実践性
〔彙報〕
小笠原宣秀氏提出学位請求論文審査要旨
東北史学会
歴史 18
我妻 建治
福留 昭尚

14世紀における紀伊
國隅田庄の在地構造
庄園と村落
——東寺領撰津國垂水庄について——
福留 昭尚

幕末の農兵と農民一揆
渡辺 信夫

昭和33年度東北史学会秋季大会共通論題
古代東北の開拓
1、蝦夷地の開拓(出羽を中心として)
半田市太郎

2、東北の開拓——歴史とその性格
大塚 徳郎
伊藤 玄三
工藤・藤木

3、討論の経過と問題点
三浦 中条家文書(1)
歴史評論 一一五
新しい「ソ連邦共產党史」について
エンブトにおける政治指導の思想的根拠
工場史編纂について
ての若干の問題
「厚今薄古」から学ぶもの
板垣 雄三

捕鯨のこと、水葬のこと
お城ブームと大阪城調査
秋白の思い出(1)
宮城十二門号についての研究
秋田県における歴史研究の現状と問題点
正徳一揆の史料
農業における資本主義の完成(1)
フランス革命と土地改革
ワイマール共和国の解体(8)
〔書評〕三つの図説歴史大系
大阪府立大学紀要(人文・社会科学) 8
一七世紀リベルタンの史的意義
実朝の性格と露旅歌
倉部 健治
小林 文男
橋浦 泰雄
岡本 良一
楊 之 華
佐伯 有清
大和久震平
佐川 良規
川 良雄
飯沼 二郎
大場 勝
吉田 輝夫
村上 直

鳥山 成人
板垣 雄三
秋 石
倉部 健治
小林 文男
橋浦 泰雄
岡本 良一
楊 之 華
佐伯 有清
大和久震平
佐川 良規
川 良雄
飯沼 二郎
大場 勝
吉田 輝夫
村上 直

歴史評論社
鳥山 成人
板垣 雄三
秋 石
倉部 健治
小林 文男
橋浦 泰雄
岡本 良一
楊 之 華
佐伯 有清
大和久震平
佐川 良規
川 良雄
飯沼 二郎
大場 勝
吉田 輝夫
村上 直

三島と朝鮮
大神、大和、石上三社の縁起の偽作
掃部寮領の研究
手猿楽の一考察
徳川幕府直領に於ける近世初期検地帳の研究
日米通商条約の締結と其後
近代的教育の形式とその性格
關東都督府問題提要
明治末年におけるキリスト教排撃論
史海 7
東京学芸大学史学会

〔論説〕
サヴォナローラとフイレンツェのシニョリア
義熙士断に於ける晉陵郡の除外について
〔歴史教育〕
歴史教育に於ける児童生徒の歴史意識について
藤本 光代

花園宸記の文学性
助詞カ・ヤの歴史的変遷
プロイセン水利の問題点
——わが國の水に關する諸規定との關係において——
大内摩耶子
沢田美代子
竹山増次郎

町方書上 旧幕引継書目録 2
寺社書上 旧幕引継書目録 2
国立国会図書館閲覧室
国史学 72・73
国学院大学国史学会
〔創立五十周年記念特集号〕
紫式部の史学思想
古墳時代における楯の一考察
大化前代における軍事団の諸問題
岩橋小弥太
佐野 大和
上田 正昭
是沢 恭三
西田 長男
奥野 高広
近江 昌司
大館 右喜
藤井 貞文
塩入 隆
栗原 健
吉村 道男

岩坪 紹夫
金子善治郎

歴史認識上の現代史教育
中学校歴史学習に於ける人物
の取扱について

新妻 俊次
今宮 靖雄

修道院解剖問題意見

大木 英雄

商大論集 三十三・四・五号

神戸商科大学学術研究会

ドイツにおける経営史の典型
——ツァイス工場の経営方策——
経営学史の構成について

栗田 真造
高木 正雄

清泉女子大学紀要 7

服部 武

春秋時代における土の思想
神宮僧侶学校の設置と廃止に
ついて

石田加都雄

十八世紀ヨーロッパについての解明

アスンシオンフェル
ナンドス A.C.I

名古屋大学文学部研究論集 二十三号

往生伝の研究

重松 明久

——平安時代の七往生伝について——

立正史学 二十四号

新倉 善之

武蔵野新田開発の一例
——北多摩郡戸倉新田の場合——

北原 進

札差に対する幕府の資金貸下
について

——田沼時代より寛政改革期に至る——

都下北多摩郡国分寺町周辺庶
民資料目録 第一輯

立正大学古文書研究会編

【研究余録】

土師堅穴建築の計画性
座談会（歴史教育の諸問題）

坂詰 秀一

歴史研究 7

郷土の考古学的研究特集号

地域研究と農業起源の問題
新城市内の縄文式遺跡・弥生
式遺跡・古墳の調査

澄田 正一
夏目邦次郎

豊川市船山古墳第一号墳につ
いて

鈴木 範一

矢作川流域の弥生文化

斎藤 嘉彦

矢作川流域における古墳時代
知多半島における先史時代の
地形変遷と土地利用

天野 暢保

知多湾沿岸における弥生文化
知多古窯について

杉崎 章

天白川流域の先史遺跡

加藤 岩蔵

コブラの話

立松 宏

——ガンダーラ調査余話——

森 達也

（昭和三十五年四月分）

岩手史学研究 三十三号

岡崎 敬

岩手県のチャシと鳥海柵

草間 俊一

中間の史伝文学

太田孝太郎

秋田城の位置に関する諸説

板橋 源

奥州中世の念仏門の宣布

及川 大溪

東北日本における歴史的フロ
ンティアの特質

山田 安彦

【資料紹介】

司東 真雄

南北朝期に於ける時衆教団側
面観

西村 孝夫

【書評と紹介】（東北史語集）（昭和三十四年
度秋季大会研究発表要旨）（その他）

大府府立大学経済研究叢書 一冊

イギリス東インド会社史論

伊吉リス東インド貿易及び
貿易思想研究への序論

大阪府立大学経済研究叢書 二冊

福原 行三

J・S・ミルの経済政策論研究

甲斐史学 十号

大府府立大学経済研究叢書 二冊

大久保石見守長安と甲斐

J・S・ミルの経済政策論研究

近世甲州葡萄酒の生産と流通（下）
——甲州上岩崎村を中心として——
甲州農村における中農上層の
農家経済
——農業作徳控帳の紹介——
山梨農民運動史（一）

飯田 文弥

斎藤 博

竹川 義徳

なかざわ・
しんきち

手塚 寿男

服部 治則

村松 蘆州

上妻 博之

服部 治則

衰田田鶴男
松田 唯雄
牛鳥 盛光
佐原 憲彰
桑原 憲彰
相撲道と吉田司家
人吉藩の政治と生活 佐賀市関行丸古墳
剛の歴史 宮原町郷土誌

長内 鉄也

奥本 算人

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

長内 鉄也

奥本 算人

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

国史研究 二二号

弘前大学国史研究室

津軽藩民政と入会地について（上）

江戶時代初期に於ける津軽藩
の新田開発（上）

〔新刊紹介〕『津軽歴代記類』(みちのく双書第七・八集)小箱衷三

〔史料紹介〕岩見文庫目録(十四)

〔彙報〕〔弘前大学国史研究総目次〕

史学 32の4 三田史学会

近山 金次

アウグスチヌスと歴史的世界

—Nisi digat Deum, nemo diligit seipsum.—Ep. CLXXVII. 10—

田田 次郎

平安時代に於ける白居易受容の史的考察

シコテファンボルンとドイツ労働者運動

ドイツにおける日本の現況

反町文書(四)

森田岡太郎

河北 展生

〔書評〕〔彙報〕

史迹と美術 30の4 三百三号

大和長谷寺の鐘

伊丹廃寺発掘調査概報(二)

石工藤原助継の遺品(一)

河内国法禪寺について

福岡県岡垣廃寺在銘薬師坐像

商大論集 三六号 神戸商科大学学術研究会

昔語り・問はず語り

—原語語彙覚書の中—

Manuscript Edition and Interpretation

Sir Gawain and the Green Knight

II 1282—1289 (255)

成瀬 正幾

東亜時論 2の4

毛沢東の戦争観

河上 伍郎

荒尾精の教育と思想

魚返 善雄

日本上古史研究 4の4

〔論説〕

伊福部管見

〔評論〕

宮崎市定博士の日唐韓冠位制度の研究について

〔史料〕

『令集解』講読覚書(四)

—坂聖令における大宝令の復原—

〔書評〕

利光三津夫氏著

『律令及び令制の研究』

〔論文要目〕昭和三十四年八月

日本歴史 一四二号

〔座談会〕歴史教育と歴史教科書の検定をめぐって(上)

近世における年季給取奉公人の成立過程と給銀形態

大隅国建久岡田帳小考

隠者の発想

欧米の旅(二)

新えすばにやぶるつがる記

興(狂)歌史上の大倉鶴彦翁

〔歴史手帳〕〔書評と紹介〕

〔日本史関係雑誌論文目録〕〔学界動向〕

大和文化研究 5の4

東大寺造営当時の自然地形について

奈良木辻称念寺の什宝

〔資料〕

訳註入唐巡礼求法行記稿(二)

元興寺極楽坊聖徳太子孝養立像の修理

三月堂棟木銘

近藤 喜博

時野谷 滋

田中 卓

奥村 郁三

豊田 武他

井上 定幸

五味 克夫

桜井 好朗

豊田 武

松田 毅一

小池藤五郎

森 喜穂

牛川 喜幸

榎本 杜人

小野 勝年

杉山 一郎

鈴木 嘉吉

立命館文学 一七九号

いわゆるゲルマン的共同体と封建共同体

〔書評〕明代滿蒙史料の編集を回顧して

歴史評論 一六一号

教科書改訂の実際

大阪府の文化財のしおりと歴史教育の問題点

インドの内側からみたインド・ナショナルリズムの問題

コミュニケーション的結合原理の生成と展開(一)

思想史の方法規定への試み(下)

ハンムラビ(七二四—一六八二B.C.)

明治後期地主会成立の背景

農業における資本主義の完成(下)

ワイマール共和国の解体(一)

教科書の検定

史淵 81

庄園村落の遺構

—筑後瀬高下庄の場合—

突厥の瓦解渤海の靺鞨諸族併呑と小高句麗の九州増領

明治における国家と個人(承前)

—石川啄木の場合—

福岡県糸島郡旧糸島高等女学校校庭出土の甕棺

東洋大学紀要 十三集

〔人文科学編〕

パースとジェイムズ

瀬原 義生

外山 軍治

藤岡喜久男

森井 浩一

坂本 徳松

倉塚 平

山田 宗睦

板倉 勝正

山口勝一郎

飯沼 二郎

吉田 輝夫

藤間 生大

九州史学会

鏡山 猛

日野開三郎

西尾陽太郎

渡辺 正気

廣池利三郎

白隠禪師における化他行の一考察
 古代民間孝子譚の仏教的一断面
 唐代の思惟に於ける自律的意志
 詩集『抒情詩』論序説
 助詞イの残存
 平安時代の使用者と用法
 「美しい自然」の模倣
 【社会科学編】
 崇神天皇崩年戊寅考
 都市の地域集団に関する研究
 【自然科学編】
 大井川下流域における流露と宿駅の変遷について
 日本上古史研究 4の5 四十一号
 【論説】
 日向古墳出土の璧
 雄略天皇の即位紀年について
 【評論】
 「継体・欽明朝内乱」考
 額田部宿禰先祖の墓について
 【論文評】
 青木紀元氏「再び石川本古事記」について
 【論文要目】 昭和三十四年八月(承前)―十月
 日本文化 三十九号
 釈日本紀に引く日本書紀私記(上)
 カトリックの世界伝道 トマス・オーム著
 昔と今― 塩谷悟訳
 日本歴史 一四三号
 【座談会】 歴史教育と歴史教科書の検定をめぐる(上)
 近藤 文剛
 宮岡 照光
 宮西 一積
 広島 一雄
 小林 芳規
 木幡 順三
 市村其三郎
 【石川 淳志】
 奥田 道大
 日高 重孝
 伊野部重一郎
 庄司 浩
 橋本伊知郎
 鎌田 純一
 天理大学出版局
 石崎 正雄
 高校教科課程の改正と日本史
 役屋身分・役屋数の固定について
 品部雑戸の理解について
 藤堂藩初期の農民把握について
 元禄期俳諧師の社会階層について
 世界を歩いた伴天連
 【講座】
 日本荘園史(第二十四講)
 欧米の旅(三)
 荘園解体期における土佐国大忍庄の在地構造の変化について
 【歴史手帳】 【書評と紹介】 【新刊書案内】
 【学界動向】 【日本史関係雑誌目録】
 仏教史学 8の3
 日蓮宗特集
 法華験記とその周辺
 一持経者から日蓮へ―
 法華専修の成立について
 日蓮立宗に関する二三の問題
 (寛永書)
 蓮契上人考
 【書評】
 道鏡(横田健一著)
 彙報
 大和文化研究 5の5
 円覚寺舍利殿の創建年代
 一円覚寺舍利殿三建論(二)―
 清水隆慶について
 【資料】
 瓦器梳三例
 豊田 武
 内藤 二郎
 高橋 富雄
 中田 四朗
 石井 操
 H・チースリク
 竹内 理三
 豊田 武
 正木喜三郎
 川添 昭二
 藤井 学
 三浦 圭一
 島田乾三郎
 井上 薫
 川副 武胤
 杉山 二郎
 稲垣 晋也
 岡山県理性院の薬師如来坐像
 メスリ古墳の調査概要
 歴史評論 一一七
 開港と尾西綿織物業の動揺
 満鉄会社の創立について(一)
 享保改革における地方支配機構の整備と農民対策(一)
 (昭和三十五年六月分)
 岩手史学研究 34
 人口移動法則に対する若干の批判(その一)
 奥州中世豪族の熊野結縁
 樺太開拓に於ける旧一柳藩主「チャーン」名疑一義
 陸奥国大國造に関する二・三の管見
 【研究余録】
 観世音
 岡山史学(6・7号)
 中国における共産主義の成功
 中国におけるのトインビー教授の歴史観(下)
 大山博労座
 一牛馬市研究・第二報―
 幕末・明治初期における地主制の展開
 一岡山藩兒島郡日笠家を中心として―
 村方地主制と鉄山経営
 一美作国大庭徳山家の場合―
 甲斐史学(11号)
 甲斐国発見の墨書土器と陸刻文字
 前田 幹
 小島 俊次
 川浦 康次
 安藤 実
 大石慎三郎
 川本 忠平
 及川 大深
 小川 博三
 板橋 源
 新野 直吉
 及川 大深
 矢野 仁一
 石田 寛
 横山 英治
 太田 健一
 松尾 圭子
 宗森 英之
 上野 晴朗

明治二年田安領一揆について
甲州キリスト教史序説

有泉 貞夫
大内 三郎

山梨農民騒動史(二)
―郡内騒動―

竹川 義徳

山梨県の国宝・重要文化財の概要(上)

伊藤 祖孝

〔落穂集〕
最勝寺の洪鐘について

青山 靖
村松 蘆州

甲斐の医道(下)

飯田 文弥

〔資料紹介〕
三郡村々酒造質屋水車稼人書上帖

飯田 文弥

甲斐近世史料目録(八代郡の部)

近世仏教研究会

近世寺院史への視角
「木仏之留」について

竹田 聰州
千葉 乗隆

黒江の異計(七)
―近世宗学史研究ノート―

藪田 香融

天文日記国別引得(二)

北西 弘

経済研究 15

大阪府大経済学部

〔論説〕
近世大阪の薬種仲間

本庄栄治郎

〔書評〕
アーサー・ウェイリー「中国人の眼を通して見たアヘン戦争」

西村 孝夫

J・ストレイチー「帝国の終末」

内田 勝敏

史観 (59)

早稲田大学史学会

清水泰次先生を悼む
渡辺幾治郎先生を悼む
唐代官僚の旬仮に就いて

栗原 朋信
深谷 博治
根本 誠

エルンスト・トレルチの歴史哲学と政治思想
幕末薩藩の展開過程(序説)
―とくに倒幕に至る政情と思想の対応を中心として―
布留と風流の関連性に就いて

仲手川良雄
大橋 博

〔書評〕
後藤淑著「中世的芸能の展開」
熊谷幸次郎編「続日本紀索引」
山本澄子氏学位論文審査要旨
洞富雄助教授学位論文審査要旨

桑島 禎夫
真保 竜敏

史林 43の3

京大史学研究会

イングランド国教成立に関する一考察
ワイマール共和制末期における農民層の政治的動向
―シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州の場合―

植村 雅彦
中村 幹雄

干拓と漁民(上)
―児島湾の場合―

臼井 勝美
由比浜省吾

〔研究ノート〕
井上毅の思想的性格
清仏戦争期における対韓政策
トルファン発見田土文書の性質について

梅溪 昇
彭 沢
宮崎 市定

―敦煌吐魯番社会経済資料(上)を読む―

三浦 圭一

〔書評〕
杉山博著 庄園解体過程の研究

横川末吉著『大忍庄の研究』 御園生翁甫著
『大内氏史研究』 菊田太郎著『東海道守口宿守口駅』 三木与吉郎編『阿波藍譜』

〔紹介〕

〔学界消息〕他
東方学 20
畿国銅器考
史記貨殖伝論
丹の字義の変遷について
―仙道の科学技術の二・三の交渉―
仏日林の問題
ワルター・フックス
鉄政における仏山鋪戸と土鑪
―続・広東の鉄鑪―
清代湖広における治水灌漑の展開
森田 明
三戸説と日本の庚申信仰
江戸時代における世説研究の一面
―建仁寺高峰和尚の研究をめぐって―
窪 徳忠
川勝 義雄
劉子一 健
野村浩一 訳
石田幹之助

共同調査研究報告 特集
改革後の東北農業の発展と当面する小作契約の更新(その一)
―農地移動と農地貸借契約について―

福島大学東北経済研究所
東北経済 33

天理大学学報 32

森泉 秀章
松井 吉之助
庄司 惇

難波宮址の研究 3 (抜刷)

大阪市大難波宮址研究会
滝沢 真弓

〔論説〕
「黄金分割」と建築の比例問題
日本上古史研究 四十二号

滝沢 真弓

〔論説〕
室寿と出雲
長岡京廢都理由の一考察

森田康之助
前川 明久

〔評論〕
平城京二条の中央路及び二条大路々幅の再確認

山本 栄吾

〔史料〕
古事記の「国造」記事

新野 直吉

〔論文評〕
早川庄八氏「公廩稲制度の成立」

喜田 新六

日本歴史 一四四

民権運動後期における実学の精神の崩壊

鹿野 政直

急進的土族民権運動家の半生

松尾 章一

「文明論之概略」とギゾーの文明史

小沢 栄一

明治五年西郷隆盛の元帥任用について(下)

高橋 茂夫

〔史料解説〕
「国会に於いて質問を受ける」とき説明を拒むの権を宰相に与うるの可否」について

鈴木 正

東国真宗教団の基礎構造

菅田 慶恩

対華二十ヶ条要求条項の決定とその背景

長岡新次郎

今昔物語集における殺人事件二つ

山田 英雄

南蛮屏風物語

松田 毅一

関白藤原兼実の兄弟について

多賀 宗隼

〔講座〕
日本荘園史(第二十五講)

竹内 理三

〔歴史手帖〕
森銃三、小林計一郎、阿部猛、瀬野精一郎、久保日参

金指 正三

民俗 4の2 日本民家集落博物館

狐憑研究糸図

井上吉次郎

狐憑病新論・憑きもの持迷信
名前を呼ぶ禁忌とことだま
―忌み言葉考(その二)―

榎垣 実

飛騨白川の晴着について

桑野 孚美

紀北の祭神と当屋(四)

鳥越憲三郎

〔はなしの横丁〕
仮託

藤本 篤

西宮市塩瀬町の伝説二題

長濃 文夫

大和文化研究 5の6

田中 稔

秋田城介時頭施入の法華寺一切経について

小野 勝年

ウハナベ・コナベ

笹谷 良造

〔資料〕
訳註八唐巡礼求法行記稿(三)

小野 勝年

東大寺戒壇院四天王像の前所在

山本 栄吾

天神古墳の調査概要

伊達 宗泰

歴史 20輯

小島 俊次

關帝学の成立と垂加神道への関連

東北史学会

奈良朝前期における班田農民の逃亡

平 重道

畿内計張の分析を中心にして

平田 耿二

近世鉱山労働者についての考察

吉城 文雄

―鉱山一揆の序説として―
〔書評及び紹介〕
ボスタン著「イギリス封建社会
佐藤伊久男訳「展開」

松垣 裕

上田正昭著「日本古代国家成立史の研究」

高橋 富雄

土偶に関する二つの書

田枝 幹宏
瀧口 修造

野口義磨「日本の土偶」と江坂輝弥「土偶」

伊東 信雄

歴史評論 一一八
クワヤスキについての研究ノ
ある聞書の世界

白木原和美

―石見日原村聞書によせて―
コミュニケーション的結合原理の生成と展開(二)

吉沢 和夫

―人民公社試論―

倉塚 平

〔昭和三十五年八月分〕
甲斐史学 12号

董沼 英雄

入会の変遷
―富士山麓の西組の場合―

斎藤左文吾

甲州市川大門及河内地方の製紙業について

竹川 義徳

山梨農民騒動史(Ⅱ)
―米倉村騒動―

清水 茂夫

俳諧「白根岳」について

清水 茂夫

〔教材研究〕
改稿 甲斐武田氏(Ⅱ) その社会経済史的考察
なかに「わしんきち」(ききがき) 編集部

清水 茂夫

甲斐近世史料目録(第10回)

清水 茂夫

西八代郡南都留郡、東山梨郡、東八州郡

清水 茂夫

研究報告(第一部) 13 香川大学学芸学部

倉田 貞美

飲冰室詩話について

倉田 貞美

本居宣長における文芸と古道との関係について

城福 勇

歴史指導の構想と過程

玉村 稔

史迹と美術 30の7

玉村 稔

初期伽藍配置の展用過程
比叡山の石造塔婆

村田 治郎
服部 清道

越中射水神社の鉦影神像
続・国東型宝塔に就て(下)

藤原 良志
望月 友善

日本近代史研究 (5号)

法政大学近代史研究会

明治中期の拓殖政策と北海道
協会
松川藩における尊王攘夷運動
松方財政と地租政策
—松方正義研究ノート—
静嘉堂文庫と後藤象二郎伝

佐藤 司
西田 豊
橋本 文男
松尾 章一

明治15年の群馬県下廃娼運動
反対史料

小西 四郎

〔書評と紹介〕
大久保利謙編「日本人物史大系」第六巻
大久保利謙編「西周全集」
第一巻
安保問題をめぐって

新藤東洋男
松尾 章一
洞井 浩他

日本上古史研究 四四号

〔書評〕
松本芳夫氏著「古代日本人の思想」
梶原正昭氏他著「将門記—研究と資料」
井上光貞氏著「日本国家の起源」
村尾次郎氏著「律令制の基調」

〔史料〕
『律令集解』講読寛書(五) 集解所引漢籍校訂稿(二) 奥村郁三
〔論文要目〕
昭和三十四年十月追加補充
日本歴史 一四六

安津 素彦
林 陸朗
時野谷 滋
藺田 香融

出挙制の起源
近世の参宮(上)
清規の伝来と流布について
南蛮誓詞の下限
鎌倉光明寺草創考
園城寺権大僧都定円
伝記随想(三)
武田家臣団の解体と蔵前衆(上)
宿財政と村政
青年学校制度とその時代性
大日本古文書幕末外国関係文書の編纂
米国における古文書保存状況

田名網 宏
新城 常三
今枝 愛真
海老沢有道
大橋 俊雄
多賀 幹弥
宗俣 宗準
村上 直
丸山 雍成
鈴木 健一
多田 実
金井 円
竹内 理三

〔講座〕
日本荘園史(第二十七講)
〔歴史手帖〕
赤羽壮造、阿部猛、堅田精司、坂井誠一、朝森要、笹川隆平
彦根論叢 (六十九)
外国貿易と経済発展
菅浦文書(四十二)
弘前大学国史研究 二十二号
林鷲峰と新井白石
江戸時代前期における津軽藩の
新田開発(下)
津軽藩林政と入会地について

〔史料紹介〕
岩見文庫目録(十五)
民俗 2の3
弓神事の源流に関する一考察
〔座送り証文〕のこと

〔歴史手帖〕
赤羽壮造、阿部猛、堅田精司、坂井誠一、朝森要、笹川隆平
彦根論叢 (六十九)
外国貿易と経済発展
菅浦文書(四十二)
弘前大学国史研究 二十二号
林鷲峰と新井白石
江戸時代前期における津軽藩の
新田開発(下)
津軽藩林政と入会地について

雨乞いと八大竜王
土佐の神楽
—高知県土佐郡本川村桑瀬—
動物名義考(二) タヌキ・キツネなど(一)
生命への執念(その三)
—「愚み言葉考」—
〔資料ノート〕
氏子入り、白の上で踊る神様、山の神むかえ、雨を呼ぶ竜頭、ノリフネなど
大和文化研究 28
元禄時代・大仏殿虹梁の運漕に就いて
長谷寺資料
—宋板一切経管蓋墨書の紹介—
早春の吉野行
—みこもり姫をたずねて—

藤本 篤
棚橋 利光
笹谷 良造
榎垣 実
堀池 春峰
近藤 喜博
景山 春樹
鈴木昭一郎
土岐 武治
青木 喬

〔史料紹介〕
岩見文庫目録(十五)
民俗 2の3
弓神事の源流に関する一考察
〔座送り証文〕のこと

宮崎 道生
奥本 算人
長内 鉄也

特集、一九六〇年五月六月によせて
抵抗権の思想と民主的國民議会のイデオロギー
歴史の評価ということについて
歴史の転換期に生きた(報告と感想)
安藤彦太郎、原口清、堀米庸三、穂種重行、佐々木銀弥、成瀬治、鈴木良一、進藤牧郎、佐藤進一、米田佐代子、
キューバの革命(一)

岡部 広治

特集、一九六〇年五月六月によせて
抵抗権の思想と民主的國民議会のイデオロギー
歴史の評価ということについて
歴史の転換期に生きた(報告と感想)
安藤彦太郎、原口清、堀米庸三、穂種重行、佐々木銀弥、成瀬治、鈴木良一、進藤牧郎、佐藤進一、米田佐代子、
キューバの革命(一)

岡部 広治

特集、一九六〇年五月六月によせて
抵抗権の思想と民主的國民議会のイデオロギー
歴史の評価ということについて
歴史の転換期に生きた(報告と感想)
安藤彦太郎、原口清、堀米庸三、穂種重行、佐々木銀弥、成瀬治、鈴木良一、進藤牧郎、佐藤進一、米田佐代子、
キューバの革命(一)

岡部 広治

特集、一九六〇年五月六月によせて
抵抗権の思想と民主的國民議会のイデオロギー
歴史の評価ということについて
歴史の転換期に生きた(報告と感想)
安藤彦太郎、原口清、堀米庸三、穂種重行、佐々木銀弥、成瀬治、鈴木良一、進藤牧郎、佐藤進一、米田佐代子、
キューバの革命(一)

岡部 広治

特集、一九六〇年五月六月によせて
抵抗権の思想と民主的國民議会のイデオロギー
歴史の評価ということについて
歴史の転換期に生きた(報告と感想)
安藤彦太郎、原口清、堀米庸三、穂種重行、佐々木銀弥、成瀬治、鈴木良一、進藤牧郎、佐藤進一、米田佐代子、
キューバの革命(一)

岡部 広治

特集、一九六〇年五月六月によせて
抵抗権の思想と民主的國民議会のイデオロギー
歴史の評価ということについて
歴史の転換期に生きた(報告と感想)
安藤彦太郎、原口清、堀米庸三、穂種重行、佐々木銀弥、成瀬治、鈴木良一、進藤牧郎、佐藤進一、米田佐代子、
キューバの革命(一)

岡部 広治

特集、一九六〇年五月六月によせて
抵抗権の思想と民主的國民議会のイデオロギー
歴史の評価ということについて
歴史の転換期に生きた(報告と感想)
安藤彦太郎、原口清、堀米庸三、穂種重行、佐々木銀弥、成瀬治、鈴木良一、進藤牧郎、佐藤進一、米田佐代子、
キューバの革命(一)

岡部 広治

(昭和三十五年九月分)

大分県地方史 24

豊後大友氏の出自について

津久見の切支丹資料

島原の乱と二豊の諸藩

―特に津留時代の大給松平忠晴を主として―

豊後中津藩における町人生活

の一考察(一)

―享保年間の変遷を中心として―

三重の市考

〔資料〕

鶴崎地方の潜伏キリシタン

府内藩御用紙すきについて

〔稲留新語〕の著者丸山祐義

史迹と美術 三〇七

水墨秘抄(七)

観世音寺馬頭観音像と胎内墨

書銘

平城大安寺の西明寺模倣説について

史林 43の5

画文帯神獸鏡と古墳文化

地理学の本質

余戸論

「イゴリ遺征物語」における

「ルース」という言葉について

〔研究ノート〕

交代寄合美濃衆について

―特に西高木家―

中世今掘郷の農民構造と延暦寺

渡辺 澄夫

増村 隆也

立川 輝信

橋本 操六

橋本 操六

久多羅木 儀一郎

二宮 好雄

土井 寛申

下店 静市

与崎 淳

田村 吉永

史学研究会

樋口 隆康

宮川 善造

新野 直吉

木崎 良平

日置弥三郎

黒川 正宏

フランソワ革命における地主制の問題

〔書評〕

上田正昭著「日本古代国家成立史の研究」

宮本又次篇「藩社会の研究」

Carlos Quirino: Philippine Cartography

〔紹介〕

難波宮址の研究、尊卑分脈、日本城郭全集、日本産業史大系(関東地方篇)

日本上古史研究 45

〔史料〕

倉橋本遊仙窟の出現

〔評論〕

コナミ・ウハナリと叔姪相続

美学か歴史か

―日本古代に於ける黄金截説の問題―

〔書評〕

鎌田純一氏著「先代旧事本紀の研究校本の部」

上田正昭氏「大化前代における軍門の諸問題」

池辺弥氏「倭名類聚抄「郷名」考」

「古代郷名集成」続古代郷名集成

大和文化研究 5の9

室町時代に於ける薬師・長谷両寺再興と高麗船

神門神社鏡とその同文様鏡について

立命館文学 一八三

トーマス・マン「フレイド

リヒ大王と大同盟」について

服部 春彦

八木 充

朝尾 直弘

室賀 信夫

平泉 澄

滝川政次郎

達 日出典

青木 紀元

新野 直吉

坂本 賞三

堀池 春峰

岡崎 讓治

牧 祥三

プロイセン立憲化過程におけるライン・ブルジョワジー

―三月革命期のブルジョワジーの「妥協」をめぐる考察

とりのかへばや物語の年立に關する考察

近世京都の材木輸送(一)

―梅津を中心とした三ヶ所仲間

の歴史地理的考察―

〔書評〕

國崎望久太郎著「近代短歌史研究」

仏教史学 8の4

平家物語の仏教史的考察

ラトナー・カラシヤンティの論理學書

〔學界動向〕

西域古代語仏典の研究(トカラ語)

〔書評〕

山田竜城著「大乘仏教成立論序説」と「梵語仏典の諸文献」を讀んで

親鸞(松野純孝著)

法然(田村円澄著)

歴史評論 一一一

日本における西洋史研究について

ウインストン・チャーチルにかんする序章

現代史のなかの肖像 I キューバの革命(二)

末川 清

鈴木 弘道

永谷 清三

山崎 敏夫

福井 康順

梶山 雄一

井ノ口泰淳

岸本 裕

二葉 憲香

高千穂徹乘

吉岡 昭彦

山上正太郎

岡部 広治

山崎 敏夫

福井 康順

梶山 雄一

井ノ口泰淳

岸本 裕

二葉 憲香

高千穂徹乘

吉岡 昭彦

山上正太郎

岡部 広治

山崎 敏夫

福井 康順

梶山 雄一

井ノ口泰淳

岸本 裕

二葉 憲香

高千穂徹乘

吉岡 昭彦

山上正太郎

岡部 広治

山崎 敏夫

福井 康順

梶山 雄一

井ノ口泰淳